

ID: 患者氏名: 様

	入院当日(治療前)	治療の期間	退院日(治療終了後)	
	月 日	月 日～ 月 日 (日間)	月 日	
目標	治療の経過が分かる	予定どおり治療が終了する	副作用への対処法を理解し実行できる	
説明・指導	入院生活について説明します。 腎機能検査のため、尿をためる方法について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の対処方法について説明があります。薬剤師から、薬の説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。 こまめに水分補給をしてください。	退院指導を行います(生活指導や次回外来再診日の連絡)	
治療処置点滴	身長・体重を測定します。 	スケジュール (1～3日目)		
		①	30分	グラニセトロンとデキサート (ステロイド) という吐き気止めを行います。
		②	30分	アドリアシン (抗がん剤) を点滴します。
		③	2時間	イホマイド (抗がん剤) を点滴します。
		④	2時間	ダカルバジン (抗がん剤) を点滴します。
		スケジュール (4～5日目)		
		①	30分	グラニセトロンとデキサート (ステロイド) という吐き気止めを行います。
		②	2時間	イホマイド (抗がん剤) を点滴します。
		☆点滴は生理食塩液という水分補給のための補液を1日目の抗がん剤の投与前から開始します。その後、7日目の24:00まで継続的に点滴による水分補給を行っていきます。吐き気がひどいときはさらに吐き気止めを追加します。 ☆ ダカルバジン を点滴中に血管痛がある場合は、お知らせください。 ☆ イホマイド の副作用予防 (膀胱炎対策) として ウロミテキサン というお薬を1日3回 (1～5日目) 注射します。 ☆ アドリアシン 投与後～1日は、尿が赤くなることがありますが、薬の色ですので心配はいりません。		
内服	現在飲んでいる内服薬の確認をします。 内服薬は基本的に継続内服とします。	1日目は アプレピタント125mg (吐き気止め) と 膀胱炎対策 として ダイアモックス錠 (利尿剤) を飲みます。 2～5日目は アプレピタント80mgとダイアモックス錠 を飲みます。 6～7日目は ダイアモックス錠 を飲みます。 現在飲んでいる内服薬は基本的に継続内服とします。 		
検査	 化学療法に必要な検査を行います。(血液検査、尿検査)	24時間尿をためていただいて、尿量を測定して腎機能検査を行います。 体調に応じて血液検査を行います。 		
食事	基礎疾患 (糖尿病・高血圧など) に応じて、治療食が出ます。	食事の制限は特にありません。水分を取るように心掛けて下さい。吐き気のために食べられないときには、食事の変更ができますので相談ください。症状にあわせて食事内容を変更することがあります。		
生活・行動	特に行動制限はありません。 	特に行動制限はありません。 治療後は、白血球数が減少すると抵抗力が弱くなるため、人混みは避け、うがい・手洗いをしっかりと行い感染に注意してください。血液データに応じて食事や行動の制限がある場合があります。		
清潔	シャワー浴、または入浴ができます。			
その他	熱が出た場合や検査データに異常のある場合は、化学療法を延期することもあります。	他に気になる症状がありましたら、申し出てください。 		
		☆1コース21日で以下の予定で行います 1 2 3 4 5 21 イホマイド 2,500mg/m2 アドリアシン 20mg/m2 ダカルバジン 300mg/m2		

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。